

第3章 多摩ボランティアセンターの活動の概要

「学生ならではの活動展開と信頼の構築

ー多摩ボランティアセンター2016年度活動の総括ー

多摩ボランティアセンター長 宮城 孝

2016年度は、馬場敏幸センター長から私に交替した最初の年度になります。2016年度は、前年度までに整備・充実が図られたセンターの運営基盤をベースに、「学生スタッフによる自律的な企画運営の推奨」、「地域との絆の強化」を大きな柱として活動に取り組みました。

一つ目の「学生スタッフによる自律的な企画運営の推奨」は、多摩ボランティアセンターの伝統的な方針として、ボランティアの基本的なあり方に基づき、学生の自由な発想と活動を尊重し、育んでいくというスタンスです。ボランティアセンターとしては、実現可能性や安全性などに気を配って助言し、責任を持って社会的に意義のある活動が展開できるように支えています。

その点で2016年度は、様々なフィールドで学生スタッフが、自ら考え企画し実施した活動において、意義のある成果を大いに得ることができたかと思えます。

特に東日本大震災の被災地や昨年4月に発生した熊本地震への支援ボランティアに関しては、多摩キャンパスにおいて初めて募金活動を実施しました。学生スタッフ、体育会ラグビー部、被災地支援サークル Team Tama がコラボして、5月18日から20日の3日間、述べ約100人が参加しました(募金額 59,153円 日本赤十字社熊本地震災害義援金口座に寄付)。多くの学生が自ら募金活動をすることで、同じ学生への震災支援への啓発を行うことができたかと思えます。

東日本大震災の被災地支援では、「チーム気仙沼でつながり騎士(ナイト)」が、8月13日から15日に、昨年同様宮城県気仙沼市大谷海岸花火大会運営のボランティアと被災地スタディツアーに15名が参加しました。現地の被災地の住民リーダーと学生スタッフのリーダーが十分に連絡・調整した上で活動に臨んでおり、このイベントは、法政大学多摩ボランティアセンターの協力なしには実現が難しいほど信頼を得ていると言えます。

熊本地震の被災地支援では、学生スタッフ有志が「チームたまもん」を結成し、刻々と現地の状況が変化し、ボランティアのニーズが判然としない中、現地との調整を慎重に行い、8月13日から15日に第一次隊3名が、NPO法人「子育て応援おおきな木」の指導のもと遊びや学習の機会が少ない子どもへの支援を行い、8月27日から28日には、第二次隊6名が参加し、熊本YMCAの指導のもと、益城町総合体育館の避難所内の住居スペース内の移動、撤去、段ボールベッドの解体や館内の清掃活動を行いました。学生の献身的な活動に大きな信頼を得ることができました。その結果、第三次隊4名が、2017年2月19

日から 21 日まで、益城町木山の仮設住宅団地の地域支え合いセンターにて、熊本 YMCA の指導のもと、子ども・高齢者の支援を行うことができました。

東日本大震災、熊本地震の被災地支援の活動は、2017 年度も学生が主体となり、被災地に何が求められているのか考え、被災地に寄り添った活動を展開していきます。

第二の多摩ボランティアセンターの特徴である「地域との絆の強化」においても、学生が主体となって、住民団体と交流しながら企画し活動展開をしています。

先ず、10 月 22 日から 12 月 2 日に開催された町田市相原町出身の詩人『さいわいの詩人ー八木重吉展』において、町田市民文学館ことばらんどに協力し、スタッフが相原を紹介する DVD を作成・放映し、多くの方に見ていただくことができました。また、11 月 3 日に開催されたメモリアルコンサートでは、スタッフが司会・進行するなど大きな役割を担いました。

また、地元の相原町の小中一貫校町田市立ゆくのき学園の裏山と多摩キャンパスを結ぶ「学びの道」の整備作業を一昨年からスタッフ有志が、NPO 法人大戸源流の森の会の指導のもと計 8 回行ってきましたが、12 月 26 日、ついに最終作業を行い無事完成しました。同学園には、本学学生が授業や放課後支援活動のボランティアをしており、大きく距離が短縮され、活用が期待されます。

さらに、地元相原町のにぎわい創生を目的に開催された町田市とさがまちコンソーシアム主催の「相原エリア魅力づくりコンテスト」に、スタッフ有志が「チームあいほら魅ラククル」として、相原地区をフィールドワークした成果を活かし企画案としてプレゼンテーションし、優秀賞「相原にぎわい創生賞プロジェクト賞」を受賞しました。この企画は、6 月 10 日にエッグドームにおいて、「相原思いの竹カフェ」として開催することになっており、スタッフ有志が鋭意準備中です。

このように学生スタッフが自ら企画・運営した活動について、下記のとおりマスコミ各社や地元の関係機関が数多く広報してくれており、学生にも大いに励みになっています。

新聞掲載一覧表			
掲載日	実施日	企画名	備考
4/29	5/1	イオンモール多摩平の森大学生チャリティーイベント&募金活動	読売新聞
10/29	10/22-12/25	町田市民文学館八木重吉展	朝日新聞
12/21	10/22-12/25	町田市民文学館八木重吉展	東京新聞
12/27	12/26	「学びの道」整備ボランティア	読売新聞
2/12	2/8-2/12	大学生ボランティア写真展&イベント 2017	読売新聞

その他掲載一覧表			
掲載日	実施日	企画名	備考
10/11	11/3	八木重吉メモリアルコンサート	広報まちだ
	10/2	相原エリア魅力づくりコンテスト	法政大学新聞学会
12/20	10/2	相原エリア魅力づくりコンテスト	相原まちづくり協議会まちづくり情報誌「あいとびあ」
2/28	2/8-2/12	大学生ボランティア写真展&イベント 2017	日野市ボランティアセンター「ボランティアiインフォメーション」2017年3月号

地域密着型の活動は、この他にも地域や社会福祉施設のイベントなどへの参加・協力などありますが、今後ともさらに地域と連携し、様々な方達と交流することによって、学生の豊かな社会体験の形成につなげていきたいと考えています。

2016年度の多摩ボランティアセンターの実績として、来室者が、520名(昨年度 517名)、相談件数 432 件(昨年度 388 件)、紹介者数 406 人(昨年度 181 人)と、特に相談件数、紹介者数が大きく増加しています。また、学生スタッフも 25 名(代表 長谷川敬香 社会学部 2 年、副代表 武藤花緒理 社会学部 2 年)と昨年の 8 名から非常に増加しました。今年度のスタッフの主体的な活動の成果を今後とも継承し、学生ならではの存在感を発揮し、信頼を構築しつつ社会的に意義のある活動への支援を図っていきたいと考えています。

① 町田市立ゆくのき学園見学会

日時：2016年4月10日（日） 10:30～12:00

場所：町田市立ゆくのき学園

概要：

1. 内容

学生スタッフが主導し、新入生・新学生スタッフと町田市立ゆくのき学園の見学会を開催した。ゆくのき学園のボランティアコーディネーターより、日頃本学学生がどのような活動を行っているのか説明を受け、校内見学を行った。

2. 参加者数

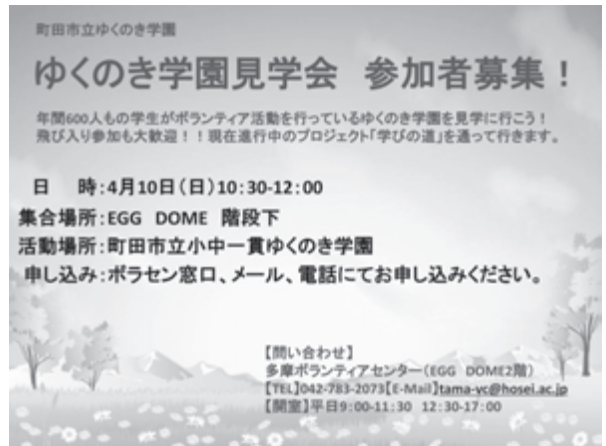
5名

3. 背景・目的

- ・協定校であるゆくのき学園での活動を知る。
- ・新入生、新学生スタッフに地域のことを知ってもらう。

4. 参加者の感想

「当日は集合後、現在活動が進む通称「学びの道」をつかっていきました。新しく入った新入生はあの道に驚いたようで皆歩幅も小さく慎重に歩を進めていました。ゆくのき学園の方に校舎や学生との関わりを説明、案内していただき熱心に話を聞く一年生の姿が印象に残っています。途中学園の中で飼われているヤギの「ユキちゃん」と触れ合う場面もあり新入生は少しだけでも地域を知ることができたのかなと思います。今回は簡単な導入となりましたが、これからの新たなメンバーでの活動に期待の高まる1日となりました。」（現代福祉学部2年 富田溪太）



町田市立小中一貫ゆくのき学園



豊かな緑に囲まれた校舎です

② 町田市生涯学習センター利用者交流会

日時：2016年4月29日（金・祝） 13:00～16:40

場所：町田市生涯学習センター7F ホール

概要：

1. 内容

町田市生涯学習センターで開催された利用者交流会のオープニングアクトとして、本学学生サークル「Jazz Study Club」が演奏を披露した。

2. 参加者数

7名

3. 背景・目的

- ・地域と大学間の結びつきを強化する。
- ・学生サークル活動の活性化。

4. 参加者の感想

「会場の雰囲気もあたたかく、とても良い演奏が出来たと思います。機会があれば、是非また演奏をさせていただきたいです。」（社会学部2年 土肥慶斗）



演奏を披露した Jazz Study Club



オープニングを飾りました

③ 大学生パフォーマーによる熊本地震・チャリティーイベント

日時：2016年5月1日（日） 11:00～15:00

場所：イオンモール多摩平の森

概要：

1. 内容

中央大学・明星大学が日野市社会福祉協議会と協働で開催した、熊本地震で被害に遭われた方々への募金活動を目的としたチャリティーイベントに参加した。熊本地震への募金を呼びかけ、集まった募金はイオンモールを通して熊本県へ寄付された。

2. 参加者数

7名

3. 背景・目的

- ・熊本地震に対する支援活動。
- ・他大学と連携したボランティア活動を行う。

4. 参加者の感想

「大学生のパフォーマンスによるチャリティーということで、イオンに来ている方々も大学生を身近に感じられた部分があるのではないかと感じました。そしてパフォーマンスを通して熊本の地震のことを考えるきっかけにもなったと思います。運営をさせていただいて声をかけてくださる方もいらっやあって、地域の方とも私たち自身交流が出来て嬉しかったです。そして近隣の大学生と交流できてお互いの活動の内容が聞けて勉強になりました。熊本の地震への募金活動であったので、東日本大震災の支援をしている方もやはりいらっやあってお話が出来て良かったです。貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。」（現代福祉学部2年 長峰由美）



募金活動に参加した学生たち



イベント終了後の撤収作業

④ ひの新選組まつり街頭募金活動

日時：2016年5月8日（日） 11:00～14:00

場所：JR 日野駅前甲州街道周辺

概要：

1. 内容

日野市観光協会が開催する「ひの新選組まつり」にて、熊本地震で被害に遭われた方々への街頭募金活動を行った。日野宿本陣前にて、中央大学・明星大学・首都大学東京・実践女子大学の学生たちとともに募金を呼びかけた。

2. 参加者数

11名

3. 背景・目的

- ・熊本地震に対する支援活動。
- ・他大学、地域と連携したボランティア活動を行う。

4. 参加者の感想

「今回はひの新選組まつりでの募金活動ということで声を張っての活動の呼び掛けができました。また、お祭りのパレードに出られる方々も一緒に呼び掛けを手伝って下さり大変嬉しかったです。今の熊本の状態をニュースやインターネット、実際に行かれた方々のお話を聞いて、自分たちが出来ることというのは少ないかもしれませんが、少しでも熊本の応援に繋がりたいと思います。今回も他大学の方々との交流が刺激にもなりました。参加させて頂きありがとうございました。」（現代福祉学部2年 長峰由美）



「ひの新選組まつり」ならではの光景



参加大学の集合写真

⑤ 「学びの道」整備ボランティア

日時：通年

場所：多摩キャンパス スポーツ健康学部棟奥

概要：

1. 内容

多摩キャンパスと、ボランティア協定校である町田市立小中一貫ゆくのき学園を結ぶ新しい道、「学びの道」の整備を行った。昨年から続く「学びの道」プロジェクトの一環で、今年度は計5回行い、道が開通した。

2. 参加者数

日程	参加者数	日程	参加者数
5月8日(日)	8名	9月9日(金)	3名
5月13日(金)	7名	12月26日(月)	4名
8月4日(木)	4名		

3. 背景・目的

- ・継続したプロジェクトの実践。
- ・ゆくのき学園、相原地域とのつながりを深める。

4. 参加者の感想

「ナタや鎌での作業は、今まで経験したことがありませんでした。しかし、地域の方が教えてくださり、徐々にコツが掴めると面白かったです。自分たちの作った階段があるところと、ないところでは坂道を進む大変さが大きく違ったので、驚きました。活動の成果が目に見えたときは、参加してよかったなと思いました。」(社会学部1年 伊藤風香)

「地域の方、小中学生と多くの方との交流がひとつの『道』という形で表せたことは胸を張って語り継いでいきたいと思う。」(現代福祉学部2年 富田溪太)



第3回(5/8)の活動風景



第7回(12/26)で開通しました

⑥ 熊本地震被災地支援募金活動

日時：2016年5月18日（水）～5月20日（金） 8：45～9：15 / 12：45～13：15

場所：多摩キャンパス

概要：

1. 内容

学生スタッフ、法政大学体育会ラグビー部、東日本大震災復興支援団体「Team Tama Action Project」（ちむたま）が合同でキャンパス内にて3日間の熊本支援募金活動を行った。寄せられた義援金 59,153 円を日本赤十字社に寄付した。

2. 参加者数

日程	参加者数
5月18日（水）～5月20日（金）	69名

3. 背景・目的

- ・熊本地震被災地への支援を行う。
- ・多摩ボランティアセンター、体育会、福祉系サークル合同でのボランティア企画を実施。

4. 参加者の感想

「私は今回初めて募金活動に参加してもらいましたが、学生スタッフやTeam Tamaさん、ラグビー部の皆さんのご協力で多くの募金を集めることができました。ぜひこの募金活動が少しでも被災地の復興支援につながればと思います。本当に3日間の募金活動にご協力ありがとうございました。」（社会学部1年 瀬留実穂）



法政大学体育会ラグビー部による募金活動



学生スタッフ、Team Tama Action Project も募金を呼びかけ

⑦ ヴィラ町田傾聴ボランティア & Voice of Winds 演奏会

日時：2016年5月22日（日） 14:00～16:00

場所：介護老人福祉施設ヴィラ町田

概要：

1. 内容

介護老人福祉施設「ヴィラ町田」で吹奏楽サークル「Voice of Winds」のメンバー21名による演奏会と、学生ボランティア3名による傾聴ボランティアを行った。

2. 参加者数

24名

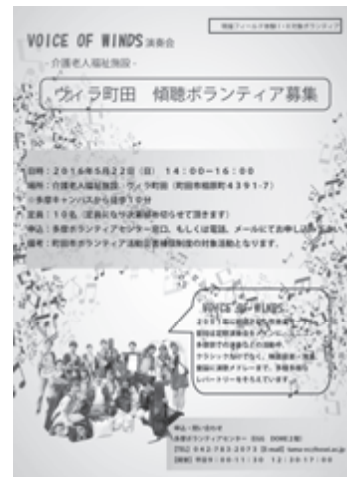
3. 背景・目的

- ・介護老人福祉施設でのボランティアを体験し、関心を深めてもらう。
- ・自身の特技をいかしたボランティア活動を行う。

4. 参加者の感想

「昨年に引き続き二度目の演奏会でしたが、世代の違う方々に向けて演奏する機会はあまりないため、選曲を工夫するなどして楽しんでいただけるものにしようと準備しました。本番は想像以上に楽しんで聴いていただけて、目の前で笑顔や手拍子をしてくださる様子を見ることができて良かったです。特に『幸せなら手をたたこう』は、みなさん一緒になって手をたたいてくださり、本当に嬉しかったです。二度もアンコールをいただき、サークル員も楽しんで演奏することができました。今後もこのような機会があれば演奏したいと思います。」（社会学部2年 横田朱海）

「私は今回、指揮者として参加させていただきました。昨年は参加していなかった為、どんな所で、どれくらいの方が聴いてくださるのか全く想像がついていませんでした。しかし想像よりずっと多くの方が聴きにきてくださり、さらにダブルアンコールまでリクエストしていただけてとても嬉しかったです。みなさんからの言葉や明るい声援が、本当に嬉しかったです。私自身とても楽しく演奏できました。このような貴重な機会をくださりありがとうございます。」（社会学部2年 佐々木千英）



Voice of Windsによる演奏



利用者の方々から大好評でした

⑧ めじろ台ふれあいサロン傾聴活動

日時：2016年6月14日（火） 13:00～15:00 / 12月13日（火） 13:00～15:00

場所：めじろ台ふれあいサロン

概要：

1. 内容

多摩キャンパス周辺地域の方々とより良い関係を築き、相互理解を深めるため、多くの本学学生が利用するめじろ台駅近くの「めじろ台ふれあいサロン」を訪問し、傾聴活動を行った。

2. 参加者数

日程	参加者数
6月14日（火）	2名
12月13日（火）	2名

3. 背景・目的

- ・地域に密着したボランティア活動を行う。
- ・地元の人々の話を聞き、大学と地域間の相互理解を深める。

4. 参加者の感想

「サロンに参加することで、地域の方と親交を深めることができました。色々なお話をさせていただいて、とても楽しかったです。ありがとうございました。」（現代福祉学部1年 鈴木琴音）

「今回は、めじろ台の皆様と貴重なお時間を体験しました。最後まで話が盛り上がり、とても楽しいひと時でした。本当に感謝しております。」（現代福祉学部1年 恩田祐希）



6月14日の活動風景



12月13日の活動風景

⑨ 町田市立ゆくのき学園大戸小学校児童来訪

日時：2016年6月22日（水） 11:00～11:30

場所：多摩キャンパス EGGDOME2階（多摩ボランティアセンター、Slow World Café）

概要：

1. 内容

ゆくのき学園大戸小学校の児童ら8名が、「まちをたんけん 大はっけん」という授業の一環で法政大学を来訪。ボランティアセンターにて学生スタッフが概要説明を行い、その後Slow World Caféを見学した。

2. 参加者数

1名

3. 背景・目的

- ・児童らの学習の手助けをする。
- ・児童らに、ゆくのき学園と法政大学のつながりを知ってもらう。

4. 参加者の感想

「今回のプレゼンで、自分も知らない法政大学の一面を新たに知り、小学生と共に学ぶことができたのでとても楽しかった。」（経済学部1年 深田新）



学生スタッフが児童らの質問に答えます



Slow World Caféを見学。店長さんからお話を伺いました

⑩ 多摩ボランティアセンター長との意見交換会

日時：2016年6月27日（月） 12:50～13:20

場所：多摩キャンパス 総合棟4階 第3会議室C

概要：

1. 内容

宮城多摩ボランティアセンター長より「災害とボランティアについて」をテーマに、災害支援現場から見たボランティア活動の基本、課題などの詳細な話を伺った。その後、夏の被災地ボランティアについて学生スタッフとの意見交換会を行った。

2. 参加者数

14名

3. 背景・目的

- ・気仙沼、熊本での被災地ボランティア企画に備え、被災地支援についての知識を深める。
- ・被災地での支援に対する学生スタッフの意識を強固なものにする。

4. 参加者の感想

「教授自身の阪神淡路大震災の経験のお話を受けて、これからの私たちがどのように被災地と向き合っていくべきかを再び考えていきたいと感じた。」（現代福祉学部2年 富田溪太）



宮城多摩ボランティアセンター長よりお話を伺う



学生からは様々な意見が飛び出しました

⑪ 八木重吉記念館清掃ボランティア

日時：2016年6月28日（火）13：00～13：30/ 10月13日（木）12：50～13：20/ 10月20日（木）12：50～13：20

場所：八木重吉記念館

概要：

1. 内容

相原出身の詩人、八木重吉さんの生家である八木重吉記念館周辺の清掃を行った。参加学生はゴミ拾い、除草作業を行い、終了後は八木重吉さんご一家の墓前にて合掌した。

2. 参加者数

日程	参加者数
6月28日（火）	3名
10月13日（木）	5名
10月20日（木）	7名

3. 背景・目的

- ・大学周辺にゆかりのある文化人の足跡を訪ね、継続的なボランティア活動につなげる。
- ・相原地域の文化的、歴史的に重要な史跡の環境整備。

4. 参加者の感想

「短い時間でしたが参加できてよかったです。最初に比べてきれいになったので嬉しかったです。ありがとうございました。」（現代福祉学部1年 鈴木琴音）

「初めて八木重吉さんのお墓に行きましたが、お墓掃除をすることで、大学のすぐそばですし、身近な存在になった気がしました。」（社会学部1年 田野崎友里）

「以前から興味があった八木重吉に、初めて触れることができた。今後も、八木重吉のボランティア活動に積極的に参加したい。」（経済学部1年 深田新）

「私達の身近な、相原の町に八木重吉さんという偉大な方がいらっしゃったのはとても素晴らしい事だと思いました。これからも、八木重吉さんがもっと有名になって、相原の発展にも繋がって欲しいと思いました。」（現代福祉学部1年 北村梨沙子）

「今回、ボランティアを通して八木重吉さんと施設の存在を初めて知ることが出来、ボランティアに参加しようと思わなければ知ることが出来なかったと思うので新しい知識をつける事も出来て良かったです。今回訪れた八木重吉さんのお墓以外にも各地にこの様に知られていないけれど素晴らしい功績を残した人物を知ることができる施設があると思うので、そういう施設の保護や発展にまた関わりたいと思える、良い経験になりました。」（現代福祉学部1年 田中恵美梨）



参加学生による清掃活動 (6/28)



八木重吉さんご一家の墓前にて合掌 (6/28)



多くの学生が参加しました (10/13)



地域の文化に触れる機会となりました (10/20)

⑫ 八王子まつり山車曳きボランティア

日時：2016年8月6日（土）～8月7日（日） 12:30～15:30

場所：八王子駅甲州街道周辺

概要：

1. 内容

大学コンソーシアム八王子の学生ボランティア企画で、高齢化が進み曳き手が不足している八王子まつりの山車曳き体験ボランティアに参加。参加した八幡上町町会の曳役衆の進行にしたがって、山車の引き綱を曳いて歩いた。

2. 参加者数

日程	参加者数
8月6日（土）	5名
8月7日（日）	2名



3. 背景・目的

- ・江戸時代に始まった祭りの理解、地域の伝統文化に触れる。
- ・市民、行政、他大学との交流をはかる。

4. 参加者の感想

「山車の上に乗ったのはこわかったけど普段だったら出来ないような経験ができたので良かったです。」（現代福祉学部1年 梶原悠多）

「私は、今回初めて八王子まつりに参加しました。地域の方のあたたかさにふれて、とても感動しました。私たちを受け入れて下さりありがとうございました。」（社会学部1年 松田成美）



8月6日の活動風景



8月7日の活動風景

⑬ ヴィラ町田夏祭りボランティア

日時：2016年8月7日（日） 10：00～15：00

場所：介護老人福祉施設ヴィラ町田

概要：

1. 内容

昨年に引き続き、介護老人福祉施設にて開催される夏祭りの運営を支援した。会場の設営や出店の運営補助を行い、利用者や地域の方と交流した。

2. 参加者数

5名

3. 背景・目的

- ・異世代との交流を通じたボランティアの実践。
- ・ボランティア先として日頃お世話になっているヴィラ町田の活動を支援する。

4. 参加者の感想

「今回、私はヴィラ町田にて夏祭りのボランティアに参加した。いままで、私はお祭りにお客さんの側として楽しみ来ていたけど、今回は運営の側としてみんなに楽しんでもらう立場になってお祭りに参加する・・・とても新鮮な気持ちだった。私がお手伝いしたのは焼きそばや焼き鳥、フランクフルトなどを焼く、焼き場のお手伝いだった。最初こそは、あまり見知っていない方々との意思疎通がうまくいかず、ギクシャクしてしまったけど、すぐに互いに打ち解け合えた。きっと焼き場の方々みんなが『来てくれたお客さんに楽しんでもらいたい』という心が通じ合ったからだと思う。焼き場での仕事は炎天下の中ということもあり、とても暑く大変なものだったけど、みんなの今回の祭りへの熱い思いがそれを吹き飛ばしてくれた。そして、お祭りに来たお客さんの楽しそうな笑顔、笑い声は今も鮮明に残っている。ボランティアをしに来たと同時に、多くの収穫を得た素晴らしい機会だったと思う。来年もぜひ参加したい。」（現代福祉学部2年 清水信夫）



職員の方との打ち合わせ



出店の運営補助を行いました

⑭ 宮城県被災地ボランティア～気仙沼でつながり NIGHT～

日時：2016年8月13日（土）～8月15日（月）

場所：宮城県気仙沼市

概要：

1. 内容

気仙沼市内で開かれる大谷海岸花火まつり支援をメインに、被災地域の見学やレクチャー、慰霊、仮設住宅の訪問等を通じて、被災地復興の実情と気仙沼市の文化について学習した。また、最終日は気仙沼市役所にて職員の方より「復興の状況」「気仙沼市の挑戦～地方創生～」「人を中心としたまちづくり」のテーマでレクチャーしていただいた。

2. 参加者数

日程	参加者数
8月13日（土）～8月15日（月）	15名

3. 背景・目的

- ・被災地のニーズに基づいた活動を計画、実施。
- ・被災地への継続的な支援。

4. 参加者の感想

「今回のボランティアで気仙沼に行ってまず思ったことは、大谷海岸にひと気が出て、活気がでてきたということです。これは、昨年も来ていたからこそ分かることだと思います。他にも、昨年なかったものができていたり、違いを感じることができました。また、昨年いっしょに活動した地域の方々に、今年も来てくれたの、ありがとうなど声をかけていただくこともできました。そこで私は、継続してくるということが大切だと感じました。だから、来年もできることなら足を運びたいと思いました。」（社会学部2年 長壁萌香）

「今回の活動は被災地の現在を確認できただけでなく、未だに終わることはない復興とこれからも続いていく住民の努力を見学させてもらうことで、自分を今一度見つめなおす良い機会となりました。活動がどんなものであっても、これからもボランティアには参加していきたいと思う。」（経済学部1年 野田周利）



大谷海岸献花台にて合掌



第5回大谷海岸花火まつり

⑮ 熊本支援ボランティア第1次隊/第2次隊/第3次隊

日時：2016年8月27日（土）～8月28日（日） / 9月10日（土）～9月12日（月）

2017年2月19日（日）～2月21日（火）

場所：熊本県上益城郡益城町

概要：

1. 内容

2016年の4月に地震の被害を受けた熊本県上益城郡益城町にて、学生スタッフ「チームたまモン」が支援活動を行った。第1次隊（8月27日-28日）はNPO法人子育て応援おおきな木さんよりご指導いただき子ども支援を、第2次隊（9月10日-12日）は公益財団法人熊本YMCAさんのご指導により避難所内の住居スペースの清掃等を行った。第3次隊（2017年2月19日-21日）も、公益財団法人熊本YMCAさんにご指導いただき、高齢者傾聴、子どもとの遊びボランティアや仮設住宅の戸別訪問を行った。

2. 参加者数

日程	参加者数
8月27日（土）～8月28日（日）	3名
9月10日（土）～9月12日（月）	6名
2月19日（日）～2月21日（火）	4名

3. 背景・目的

- ・熊本地震被災地の支援。
- ・地域で活動をしているNPO法人と連携したボランティアの実践。

4. 参加者の感想

「私が行ったボランティアは、色々な人が通る廊下の床や避難者の生活空間のそうじ、避難者が退出された場所の後片付けなどでした。特に、廊下の床そうじは、その日は室内でも暑く、少ししんどくなることもありましたが、その廊下を通る人たちが、「ありがとう」、「お疲れ様」などの声をかけて下さり、素直にとっても嬉しかったです。このことは、熊本地震で大変な思いをしている被災者の方々の1つの助けになっていると思うと、人の役に立てることは素晴らしいことであると信じられた出来事でした。このように信じられたことは、きっとこれからの自分に良いものになると思います。」（社会学部1年 瀬留実穂）

「被災者のお話から、行政による子どもと子どもを持つ親に対する支援が不足しているということを感じました。その思いは切実でとても深刻なことだと思います。震災からもうすぐ1年を迎えます。1年は頑張ろうという気持ちでギリギリの精神状態で走り続けてきた方が大勢います。そのような人を見守り、手をさしのべなくてはならないと強く感じました。」（社会学部1年 松田成美）



第1次隊・子どもたちの遊び支援



第2次隊・気仙沼の方々からの声を届けました



第3次隊・木山仮設団地集会所での交流



第3次隊・熊本YMCA スタッフの皆さんと

①⑥ 夏の被災地ボランティア活動報告会

日時：2016年9月30日（金） 15：10～16：40

場所：多摩キャンパス 総合棟4階 多目的教室

概要：

1. 内容

被災地支援をしている学生スタッフ「チーム気仙沼つながり騎士」「チームたまモン」の2団体が、夏休み期間中の活動について報告を行った。互いの意見を交換し、宮城多摩ボランティアセンター長、松波多摩学生センター長より講評をいただいた。

2. 参加者数

7名

3. 背景・目的

- ・気仙沼、熊本それぞれの被災地支援活動について知る。
- ・意見交換や講評をふまえ、今後の活動にいかす。

4. 参加者の感想

「それぞれの活動を共有し合い、次の活動に向けての課題を見つめ直すことができました。」（社会学部2年 長谷川敬香）



学生スタッフ同士の意見交換



講評をいただきました

⑪ さがまちコンソーシアム「相原エリア魅力づくりコンテスト」

日時：2016年10月2日（日） 13：30～16：00

場所：町田市役所

概要：

1. 内容

さがまちコンソーシアム加盟大学5校の学生が、各々相原の資源を活用した企画を発表した。学生スタッフ「チームあいほら魅ラクル」が参加し、「優秀賞・相原にぎわい創生プロジェクト賞」を受賞した。

2. 参加者数

2名

3. 背景・目的

- ・地元である町田市相原地域の活性化について考える。
- ・他大学の考えを聴くことで、自分たちの今後の活動にいかす。

4. 参加者の感想

「優秀賞という評価をいただき、大変誇らしく思います。今回の企画を通して地域に対して想い抱く人を知り、地域に生きる人の声を聞きより深く相原地域に対して学びを深めるとともに、地域活性化には多様なアプローチの仕方があるのだと気付きました。これからの地域に向けての発表や企画実現に向けて奮闘していきたいと思います。」（現代福祉学部2年 富田溪太）

「この度、町田市相原エリア魅力づくりコンテストにて、このような賞をいただいたこと以上に、私は今回のコンテストで大きなものを得ることができたと思います。今回得たものをこれからの活動に活かしていければと思います。」（現代福祉学部2年 清水信夫）



参加した「チームあいほら魅ラクル」



優秀賞を受賞しました

18 明星大学ボランティアセンターシンポジウム

日時：2016年10月8日（土） 13:30～18:30

場所：明星大学 日野キャンパス

概要：

1. 内容

明星大学で開催されたボランティア報告会に、学生スタッフ「チームたまモン」が参加。熊本地震の被災地支援ボランティア活動についての発表を行った。

2. 参加者数

2名

3. 背景・目的

- ・報告会を通じて大学間の交流を深める。
- ・他大学のボランティア活動を知り、今後の活動にいかす。

4. 参加者の感想

「とても緊張しましたが、他大学のチームから学ぶことが沢山あり良い経験をさせていただきました。沢山の人がつながることができ、とても充実した時間でした。」(社会学部1年 松田成美)

「子供支援や災害を想定した訓練等、様々な視点からのボランティアについて考えを深めることができました。交流会では和やかにつながりを作れ、とても有意義でした。」(社会学部1年 中島美希)



「チームたまモン」の発表



第2部のディスカッション風景

①9 ヴィラ町田運動会ボランティア

日時：2016年10月8日（土）～10月9日（日） 10：00～15：30

場所：介護老人福祉施設ヴィラ町田

概要：

1. 内容

介護老人福祉施設にて開催される運動会に参加した。参加学生は、利用者の方も参加しやすいように配慮された玉入れや玉流しといった競技をともに行い、傾聴活動もさせていただいた。

2. 参加者数

日程	参加者数
10月8日（土）	5名
10月9日（日）	7名

3. 背景・目的

- ・異世代との交流を通じたボランティアの実践。
- ・ボランティア先として日頃お世話になっているヴィラ町田の活動を支援する。

4. 参加者の感想

「みなさんの優しさに触れ、元気さに驚き、楽しみながら活動ができ、良い経験になりました。」（現代福祉学部1年 稲垣伸）

「色々な人の話が聞けて楽しかったです。運動会も盛り上がって良かったです。」（現代福祉学部1年 竹内瑞騎）



利用者の方からお話を伺う



一緒に競技を行いました

② 住友商事東日本再生ユースチャレンジ・プログラム 2016 フォーラム

日時：2016年10月16日（日） 9：00～17：45

場所：住友商事株式会社 東京本社

概要：

1. 内容

住友商事より助成を受けた団体の中間報告会に、気仙沼ボランティアチーム「チーム気仙沼つながり騎士」が参加。気仙沼でのボランティア活動について、現時点までの活動状況と今後の予定を報告した。

2. 参加者数

2名

3. 背景・目的

- ・他団体の被災地支援について話を聴き、今後の活動にいかす。
- ・自分たちの活動と今後の計画について改めて考える。

4. 参加者の感想

「他大学の発表を聞いて、さまざまなボランティア活動について知ることができた。また、同世代の人たちの積極的な姿勢に刺激を受けた。」（社会学部2年 長谷川敬香）



「チーム気仙沼つながり騎士」の報告



ポスターセッションを行いました

21 八木重吉メモリアルコンサート

日時：2016年11月3日（木・祝） 14：00～15：00

場所：町田市生涯学習センター7F ホール

概要：

1. 内容

町田市民文学館ことばらんど開館10周年記念イベントである「八木重吉—さいわいの詩人—」展に学生スタッフが協力。展示となる八木重吉紹介ムービーや、企画展オリジナルグッズを製作した。11月3日のコンサートでは、有志学生が、八木重吉の詩の世界を音楽や身体表現の形で発表し、司会進行を務めた。

2. 参加者数

46名

3. 背景・目的

- ・学生スタッフ、サークル、ゼミが連携してボランティア企画を実施する。
- ・町田市のイベント運営に協力し、地域との連携を深める。

4. 参加者の感想

「コンサートの司会進行という、貴重な体験をさせていただきました。リハーサルから本番まで、皆さんの八木重吉の詩への強い思いを感じることができました。」（社会学部1年 中島美希）

「今回は、このような機会を頂き、ありがとうございます。久しぶりの舞台での演奏、とても楽しかったです。自分の好きなことで、多くの人に喜んで頂けて嬉しい気持ちでいっぱいです。またこのような機会がありましたら是非、参加させて頂きたいです。」（社会学部3年 古溝菜々子）

「今回は合唱曲を吹奏楽用に編曲し直しましたが、各楽器のバランスや歌詞の世界観を生かす事を考えながら作るのは難しく、苦労しました。しかし、当日は温かい拍手をいただき本当に良かったです。貴重な機会をありがとうございました。」（社会学部2年 横田朱海）



およそ60名の方々が来場しました



参加者全員で記念撮影

② 市民協働フェスティバル「まちカフェ！」

日時：2016年12月4日（日） 10：00～16：00

場所：町田市役所

概要：

1. 内容

町田市内で活動する団体が活動発表などを通じて交流を深めるためのイベントである市民協働フェスティバル「まちカフェ！」に、学生スタッフと国際ボランティア学生協会「IVUSA」が参加。「学生×地域で魅力増す町田」をテーマに、町田市周辺で実施したボランティアに関するパネル展示を行った。

2. 参加者数

8名

3. 背景・目的

- ・法政大学のボランティア活動の周知をはかる。
- ・ボランティアを通じて、町田市で活動する諸団体の方々と交流する。

4. 参加者の感想

「町田という地域を盛り上げようと様々な団体が参加していて町が一つになっている感じがした。その中で町田にある大学として参加できてよかった。」（現代福祉学部1年 廣瀬留依）

「色々な団体の方や地元の方からお話を聞くことができました。出店も多くあり、楽しかったです。」（現代福祉学部1年 鈴木琴音）



学生スタッフによる活動説明



参加した IVUSA 多摩クラブのメンバー

23 学生ボランティア 2016 年度活動報告会

日時：2016年12月9日（金） 15：20～16：40

場所：多摩キャンパス 総合棟4階 多目的教室

概要：

1. 内容

多摩キャンパスではサークルやグループが多種多様なボランティア活動に取り組んでいる。報告会では、「地域にスマイルを届けよう活動助成金」採用団体を含む7団体が活動内容、学んだことについて報告を行った。

2. 参加者数

26名

3. 背景・目的

- ・日頃の活動を通して学んだことを発表し、振り返りの場とする。
- ・各自の活動に対する評価と助言を受け、今後の活動にいかす。

4. 参加者の感想

「どの団体も活動先や地域との交流を大事にしており、またその交流の中で住民さんや利用者さんとの強いつながりができるからこそ、活動を続けていけるのだなと感じました。他の団体の活動内容を聞ける機会はありませんのでとても参考になりました。ありがとうございました。」（現代福祉学部2年 岡田友佳里）

「今回参加して同じ学生が様々なところでボランティア活動をしているのだなと初めて知ることができたのでよかったです。活動報告の中で参考にしたいことがたくさんあったので、今後の活動に生かしていきたいと思いました。」（経済学部1年 庭野恵）



学生スタッフによる司会進行



終了後、参加者全員で記念撮影

② 多摩キャンパスから気仙沼・益城町・檜葉町を応援するフェア

日時：2016年12月12日（月）～12月14日（水）

場所：多摩キャンパス EGGDOME2階 Slow World Café

概要：

1. 内容

多摩ボランティアセンター学生スタッフと市ヶ谷ボランティアセンター学生スタッフ「チーム・オレンジ」による協働企画。昨年同様、食堂「Slow World Café」と協力し、支援活動を行っている気仙沼・益城町・檜葉町産の食材をつかったオリジナルメニューを考案・販売し、3日間で90食を完売した。同時に被災地ボランティアに関するパネル展示や活動風景のムービー上映、被災地応援ソングのピアノ演奏会を行った。

2. 参加者数

8名

3. 背景・目的

- ・市ヶ谷ボランティアセンター学生スタッフ「チーム・オレンジ」の提案により協働企画が実現。
- ・継続的な被災地支援の実践。

4. 参加者の感想

「場所は違いますが、3つの被災地の食材を使い1つのプレートで提供できたことで、少しでも関心を集めることができたのかなと思います。食べてくださった人に思いが届くことを願っています。」（社会学部1年 松田成美）



サメ肉の唐揚げ丼・ワカメサラダ
マミーすいとんのセットメニューを販売



ピアノ演奏を披露した古溝菜々子さん（経済学部3年）
河野菜さん（社会学部3年）

②五 八王子市無料学習教室「はち☆スタ」説明会

日時：2016年12月13日（火） 12：50～13：20

場所：多摩キャンパス EGGDOME5階 研修室1・2

概要：

1. 内容

宮城多摩ボランティアセンター長より、八王子市が来年度より設置する無料学習教室と学習支援ボランティアのあり方について、実際に1年間学習支援を行ってきた学生2名による体験談も交えて説明会を行った。

2. 参加者数

5名

3. 背景・目的

- ・子どもの貧困について考える。
- ・実際の学習支援活動について話を聞き、理解を深める。

4. 参加者の感想

「無料学習支援が必要である現状や、支援があることで変わることを知り、参加してみたいと感じました。実際に活動を行なっている先輩方のお話も聞けて良かったです。」（現代福祉学部1年 鈴木琴音）

「子どもの貧困が世間で注目される中で大学生として意義のあるボランティアだと考えさせられました。」（現代福祉学部1年 恩田祐希）



子ども支援のあり方について考えました



自身の体験を語ってくれた学生

② ベルマークをゆくのき学園に送ろうボランティア

日時：2016年12月15日（木） 12：50～13：20

場所：多摩キャンパス EGGDOME3階 コモンルーム

概要：

1. 内容

多摩キャンパスでこの1年間集めたベルマーク約300枚、古切手約1000枚の回収・整理作業を行った。ベルマークは町田市立小中一貫ゆくのき学園、古切手は町田市社会福祉協議会に寄贈する。

2. 参加者数

14名

3. 背景・目的

- ・学生たちに、ボランティアは堅苦しいものでなく、誰にでも出来ることであると知ってもらう。
- ・地域の回収活動に協力する。

4. 参加者の感想

「ベルマークを集めることで、色々なジャンルに幅広く使われていくことを再認識できました。新しい気づきもあり、参加できてよかったです。」（現代福祉学部1年 工藤安理沙）

「切手切りはハサミ1つでとても簡単でした。珍しい切手の絵柄もあって、友達と見せ合いながら楽しんで参加できました。」（現代福祉学部1年 秋山静香）



切手の回収作業



ベルマークを回収・整理しました

27 ヴィラ町田クリスマス☆ボランティア

日時：2016年12月16日（金） 15：10～16：40

場所：介護老人福祉施設ヴィラ町田

概要：

1. 内容

介護老人福祉施設ヴィラ町田にて、クリスマスボランティアを行った。参加学生が利用者の方一人一人に手作りのクリスマスカードを配り、ユニットごとに「きよしこの夜」を合唱した。

2. 参加者数

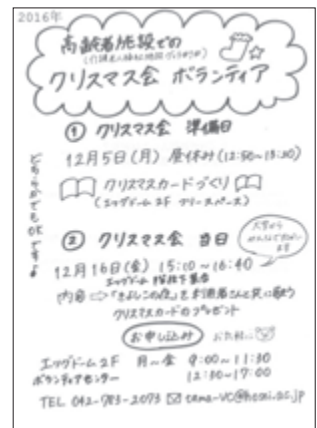
8名

3. 背景・目的

- ・異世代との交流を通じたボランティアの実践。
- ・高齢者分野への興味、関心、知識を深める。

4. 参加者の感想

「サンタやトナカイの被り物をして、施設内のユニットを1周しました。全員で「きよしこの夜」を合唱し、利用者の方一人一人に手作りのクリスマスカードを渡して回りました。利用者の方々も一緒に歌ってくださり、温かい雰囲気の中、ボランティアを行うことが出来ました。短い時間でしたが利用者の方に喜んでもらえて本当にうれしかったです。」（現代福祉学部4年 中根千秋）



「きよしこの夜」の合唱



利用者の方と一緒に歌いました

28 大学生ボランティア写真展&イベント 2017～被災地と多摩地域の架け橋～

日時：2017年2月8日（水）～2月12日（日）

場所：イオンモール多摩平の森

概要：

1. 内容

昨年同様、多摩地区6大学・行政・社会福祉協議会と合同で、学生の被災地ボランティアについてパネル展示と活動報告を行った。また、同時に開催された防災イベントにも参加した。

2. 参加者数

8名

3. 背景・目的

- ・ボランティアを通じた他大学との交流。
- ・他大学の学生の活動を知り、自分たちの今後の活動にいかす。

4. 参加者の感想

「被災地ではどんなことができるのか、とても考えさせられました。他大学とはもちろんですが、地域の方々ともふれあうことのできた貴重な1日でした。」（社会学部1年 松田成美）



被災地での活動報告



多くの人と交流できました

29 学生生活動報告会 [ガクマチ EXPO]

日時：2017年2月12日（日） 13:00～16:00

場所：町田市生涯学習センター7F ホール

概要：

1. 内容

「地域おこし」「まちおこし」をテーマに、町田・相模原で活動する大学の学生団体が、スライドを用いた活動報告とポスターブースセッションを行った。本学学生スタッフ2名を含め、全7団体が参加した。

2. 参加者数

2名

3. 背景・目的

- ・ボランティアを通じた他大学との交流。
- ・相原地域で行ってきた活動を学外に向けて発信する。

4. 参加者の感想

「相原は自然に恵まれ、住民と大学生と一緒に山歩きするようなところ。これからもこの魅力を発信していきたい。」（現代福祉学部2年 富田溪太）



ポスターブースセッション



参加団体と交流を深めました

③〇 あいはら芋煮会&SAMURAI コンサート

日時：2017年3月2日（木） 9：30～15：00

場所：大地沢青少年センター

概要：

1. 内容

「相原地区高齢者支援対策事業」として開催されている「あいはら芋煮会&SAMURAI コンサート」に、ボランティアサークル「こはる」や佐藤繭美ゼミのメンバー11名と多摩ボランティアセンター学生スタッフ5名が参加し、会場の事前準備や受付の補助を行った。

2. 参加者数

16名

3. 背景・目的

- ・相原地域の人々との交流。
- ・学生スタッフとボランティアサークルが協働で支援を行う。

4. 参加者の感想

「相原地域の住民の方々と沢山お話しできて本当に楽しかったです。来年も学生参加者がもっと増え、積極的に活動できたらいいなと思いました。」（現代福祉学部4年 中根千秋）

「美味しい芋煮を食べながら、地域の方々とたくさんお話できて、心も体も温まりました。相原地域のお話を聴いて、初めて知ることがたくさんあり、今後も地域について知りたいと思いました。最後には、コンサートもあり、充実した1日になりました。」（現代福祉学部4年 神藤涼香）



参加者の皆さんと芋煮を頂きました



SAMURAI メンバーによるコンサート

2016年度 多摩ボランティアセンター イベントカレンダー

月 日	曜 日	イベント・講座・訪問先	概 要	参加者数
4月10日	日	町田市立ゆくのき学園見学会	協定校である町田市立ゆくのき学園を見学	5名
4月29日	金	町田市生涯学習センター利用者交流会	町田市生涯学習センターの第3回利用者交流会	7名
5月1日	日	大学生パフォーマーによる熊本地震・チャリティーイベント	熊本地震を支援するためのチャリティーイベント	7名
5月8日	日	ひの新選組まつり街頭募金活動	熊本地震を支援するための街頭募金活動	11名
5月8日	日	第3回「学びの道」整備ボランティア	学びの道プロジェクトの第3回	8名
5月13日	金	第4回「学びの道」材木運搬活動	学びの道プロジェクトの第4回	7名
5月18日-5月20日	水-金	熊本地震被災地支援募金活動	熊本地震を支援するための募金活動	69名
5月22日	日	ヴィラ町田傾聴ボランティア & Voice of Winds演奏会	吹奏楽サークルVoice of Windsによる演奏会と傾聴ボランティア	24名
6月14日	火	めじろ台ふれあいサロン傾聴活動	めじろ台ふれあいサロンにて地域の方からお話を伺う	2名
6月22日	水	町田市立ゆくのき学園大戸小学校児童来訪	ゆくのき学園大戸小学校の児童らが授業の一環でボランティアセンターに来室	1名
6月27日	月	多摩ボランティアセンター長との意見交換会	多摩ボランティアセンター長と学生スタッフの意見交換会	14名
6月28日	火	八木重吉記念館清掃ボランティア	八木重吉記念館周辺の清掃活動	3名
8月4日	木	第5回「学びの道」整備ボランティア	学びの道プロジェクトの第5回	4名
8月6日-8月7日	土-日	八王子まつり山車曳きボランティア	八王子まつりでの山車巡業	7名
8月7日	日	ヴィラ町田夏祭りボランティア	ヴィラ町田夏祭りの運営補助	5名
8月13日-8月15日	土-月	宮城県被災地ボランティア ～気仙沼でつながりNIGHT～	復興支援ボランティア・スタディーツアー	15名
8月27日-8月28日	土-日	熊本支援ボランティア第1次隊	熊本地震被災地域でのボランティア活動	3名
9月9日	金	第6回「学びの道」整備ボランティア	学びの道プロジェクトの第6回	3名
9月10日-9月12日	土-月	熊本支援ボランティア第2次隊	熊本地震被災地域でのボランティア活動	6名
9月30日	金	夏の被災地ボランティア活動報告会	夏季休暇中に行った被災地支援についての報告会	7名
10月2日	日	さがまちコンソーシアム 「相原エリア魅力づくりコンテスト」	「町田市相原エリアの魅力」を紹介するプレゼンテーション	2名
10月8日	土	明星大学ボランティアセンターシンポジウム	大学生ボランティアの活動報告会	2名
10月8日-10月9日	土-日	ヴィラ町田運動会ボランティア	ヴィラ町田運動会の運営補助	12名
10月13日・10月20日	木・木	八木重吉記念館清掃ボランティア	八木重吉記念館周辺の清掃活動	12名
10月16日	日	住友商事東日本再生ユースチャレンジ・プログラム 2016フォーラム	住友商事助成金の中間報告会	2名
11月3日	木	八木重吉メモリアルコンサート	町田市民文学館ことばらんどが開催する特別展に関連するライブイベント	46名
12月4日	日	市民協働フェスティバル「まちカフェ！」	町田市で活動する団体の活動報告・交流会	8名
12月9日	金	学生ボランティア2016年度活動報告会	多摩キャンパス学生による活動報告会	26名
12月12日-12月14日	月-水	多摩キャンパスから気仙沼・益城町・檜葉町を応援するフェア	Slow World Caféにて被災地コラボメニューの販売	8名
12月13日	火	八王子市無料学習教室「はち☆スタ」説明会	多摩ボランティアセンター長による学習支援ボランティア説明会	5名
12月13日	火	第2回めじろ台ふれあいサロン傾聴活動	めじろ台ふれあいサロンにて地域の方からお話を伺う	2名
12月15日	木	ベルマークをゆくのき学園に送ろうボランティア	回収したベルマークなどの整理作業	14名
12月16日	金	ヴィラ町田クリスマス☆ボランティア	介護老人福祉施設ヴィラ町田でのクリスマスボランティア	8名
12月26日	月	第7回「学びの道」整備ボランティア	学びの道プロジェクトの第7回	4名
2月8日-2月12日	水-日	大学生ボランティア写真展&イベント2017 ～被災地と多摩地域の架け橋～	イオンモール多摩平の森にて、他大学と合同でボランティア活動を報告、展示	8名
2月12日	日	学生活動報告会[ガクマチEXPO]	「地域おこし」「まちおこし」をテーマに、町田・相模原で活動する大学学生団体の活動報告会	2名
2月19日-2月21日	日-火	熊本支援ボランティア第3次隊	熊本地震被災地域でのボランティア活動	4名
3月2日	木	あいほら芋煮会&SAMURAIコンサート	相原地域の芋煮会に参加	16名

講師、協力先	備考
町田市立ゆくのき学園	新入生、新学生スタッフとゆくのき学園を見学。本学学生が行っているボランティア活動について、ゆくのき学園のボランティアコーディネーターにお話をいただき、校内を見学した。
町田市生涯学習センター	町田市生涯学習センターで開催された利用者交流会に本学サークルJazz Study Clubが参加。オープニングアクトを担当し、演奏を披露した。
中央大学・明星大学・日野市社会福祉協議会・イオンモール多摩平の森	中央大学・明星大学・日野市社会福祉協議会が企画したチャリティーイベントにて、本学学生が募金活動に参加した。
中央大学・明星大学・日野市社会福祉協議会	日野市で開催されたひの新選組まつりにて、熊本地震の街頭募金活動に協力した。
町田市立ゆくのき学園・大戸源流森の会	ゆくのき学園と本学をつなぐ「学びの道」整備ボランティアの第3回を実施した。階段を設置し、およそ50段を完成させた。
町田市立ゆくのき学園	ゆくのき学園と本学をつなぐ「学びの道」整備ボランティアの第4回を実施した。準硬式野球部の学生が、ゆくのき学園の生徒とともに、学びの道整備のために利用する材木を作業地点まで運搬した。
	学生スタッフ、法政大学体育会ラグビー部、サークルTeamTama Action Project合同で、キャンパス内にて熊本地震被災地支援募金活動を行った。
介護老人福祉施設ヴィラ町田	吹奏楽サークルVoice of Windsのメンバー21名による演奏会、学生ボランティア3名による傾聴ボランティアを行った。
めじろ台安心ねっと	多摩キャンパス周辺地域の方々とより良い関係を築き、相互理解を深めるための訪問活動。めじろ台駅近くの「めじろ台ふれあいサロン」を訪問し、傾聴活動を行った。
町田市立ゆくのき学園・Slow World Café	ゆくのき学園大戸小学校の児童ら8名が、「まちをたんけん 大はっけん」という授業の一環で法政大学に来訪。ボランティアセンターにて学生スタッフが概要説明を行い、Slow World Caféを見学した。
	宮城多摩ボランティアセンター長と学生スタッフが「災害とボランティアについて」をテーマに意見交換会を行った。
八木重吉記念館	相原出身の詩人、八木重吉さんの生家である八木重吉記念館周辺の清掃を行った。
町田市立ゆくのき学園	ゆくのき学園と本学をつなぐ「学びの道」整備ボランティアの第5回を実施した。ゆくのき学園「環境部」の生徒とともに作業を行った。
八幡上町・コンソーシウム八王子	八幡上町町会の山車曳き子として、八王子駅周辺甲州街道を巡業した。
介護老人福祉施設ヴィラ町田	ヴィラ町田夏祭りにて、出店の運営や利用者の方との交流等を行った。
宮城県気仙沼市	仮設住宅の訪問や大谷海岸花火まつりの運営補助、被災地スタディツアー等を行った。
熊本県上益城郡益城町・NPO法人子育て応援おきな木	熊本地震被災地にて、NPO法人子育て応援おきな木の指導を受け、子ども支援を行った。
町田市立ゆくのき学園・大戸源流森の会	ゆくのき学園と本学をつなぐ「学びの道」整備ボランティアの第6回を実施した。
熊本県上益城郡益城町・公益財団法人熊本YMCA	熊本地震被災地にて、公益財団法人熊本YMCAの指導のもと、避難所の清掃活動などを行った。
	被災地支援を行っている学生スタッフ「チーム気仙沼つながら騎士」「チームたまモン」が夏の被災地支援活動について報告し、意見交換を行った。
さがまちコンソーシウム	さがまちコンソーシウム加盟大学5校の学生が、各々相原の資源を活用した企画を発表。学生スタッフ「チームあいはら魅ラクル」が参加し、「優秀賞・相原にぎわい創生プロジェクト賞」を受賞した。
明星大学	明星大学で開催されたボランティア報告会に、学生スタッフ「チームたまモン」が参加し、熊本地震の被災地支援ボランティア活動についての発表を行った。
介護老人福祉施設ヴィラ町田	ヴィラ町田で開催された運動会にて、利用者の方とともに競技に参加し、傾聴活動を行った。
八木重吉記念館	相原出身の詩人、八木重吉さんの命日である10月26日を前に、生家である八木重吉記念館周辺の清掃を行った。
住友商事株式会社	助成いただいた気仙沼ボランティアについて、「チーム気仙沼つながら騎士」が中間報告を行った。
町田市民文学館ことばらんど・町田市生涯学習センター	町田市民文学館ことばらんど「八木重吉-さいわいの詩人-」展のイベントとしてライブを開催。本学学生が楽曲演奏や身体表現を用いたパフォーマンスや司会進行を行った。
町田市役所	市民協働フェスティバル「まちカフェ！」に、学生スタッフと国際ボランティア学生協会IVUSAが参加。活動をまとめたパネルを展示し、来場者や町田市内で活動するNPOや市民団体と交流した。
	多摩キャンパス学生が、この一年間の自分たちのボランティア活動について発表を行った。
チーム・オレンジ・Slow World Café・一般社団法人ならはみらい	被災地支援の一環として、気仙沼市・益城町・檜葉町の食材を使用したメニューを考案し、Slow World Caféにて販売を行った。
	宮城多摩ボランティアセンター長が、八王子市が来年度より設置する、無料学習教室と学習支援ボランティアのあり方について説明会を行った。
めじろ台安心ねっと	「めじろ台ふれあいサロン」を訪問し、傾聴活動を行った。
町田市立ゆくのき学園	多摩キャンパス内で回収したペルマークの切り取り・仕分け・計算を行い、ゆくのき学園に寄贈する。
介護老人福祉施設ヴィラ町田	参加学生が手作りのクリスマスカードを利用者の方一人一人に配り、各ユニットごとに「きよしの夜」を歌った。
町田市立ゆくのき学園	ゆくのき学園と本学をつなぐ「学びの道」整備ボランティアの第7回を実施し、道が開通した。
イオンモール多摩平の森・多摩地区6大学・八王子市社会福祉協議会・日野市社会福祉協議会・日野市役所	多摩地区の大学・行政とともに被災地ボランティアに関する活動パネル展、防災イベントに参加した。学生スタッフは宮城県気仙沼市・熊本県上益城郡益城町で行ったボランティアについて報告を行った。
町田市生涯学習センター・桜美林大学・玉川大学・さがまち学生Club	「地域おこし」「まちおこし」をテーマに、町田・相模原で活動する大学学生団体が活動報告、ポスターブースセッションを行った。
熊本県上益城郡益城町・公益財団法人熊本YMCA	熊本県上益城郡益城町の木山仮設団地地域支え合いセンターにて、公益財団法人熊本YMCAの指導のもと、子ども・高齢者支援を行った。
あいはら住民福祉協議会・町田市社会福祉協議会・大地沢青少年センター	「相原地区高齢者支援対策事業」として開催されている「あいはら芋煮会」に参加し、事前準備や受付業務を行った。